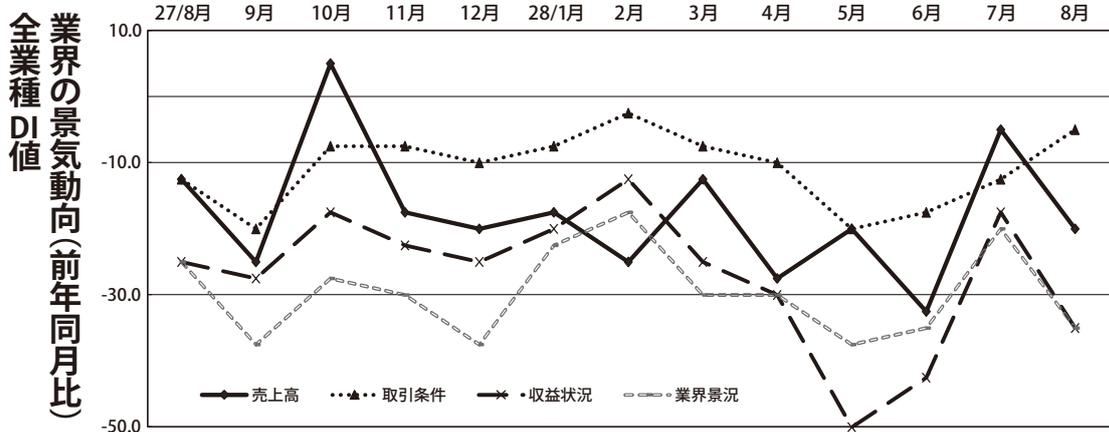


業界の今!

8月の業界の動き

平成28年8月度 情報連絡員報告



	27/8月	9月	10月	11月	12月	28/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	増減
売上高	-12.5	-25.0	5.0	-17.5	-20.0	-17.5	-25.0	-12.5	-27.5	-20.0	-32.5	-5.0	-20.0	-15.0
取引条件	-12.5	-20.0	-7.5	-7.5	-10.0	-7.5	-2.5	-7.5	-10.0	-20.0	-17.5	-12.5	-5.0	7.5
収益状況	-25.0	-27.5	-17.5	-22.5	-25.0	-20.0	-12.5	-25.0	-30.0	-50.0	-42.5	-17.5	-35.0	-17.5
業界景況	-25.0	-37.5	-27.5	-30.0	-37.5	-22.5	-17.5	-30.0	-30.0	-37.5	-35.0	-20.0	-35.0	-15.0

概況 平成28年8月の前年同月比DI値は前月に比べ、「取引条件」は7.5ポイント改善したが、他の項目は悪化した。「売上高」は15.0ポイント、「収益状況」は17.5ポイント、「業界景況」は15.0ポイント悪化した。8月は夏休みのため、機械や自動車の製造業や警備業は稼働日数が少なく、低調な動きであった。また猛暑や天候不順により、農作物の出荷に打撃があり、段ボールにも影響が出ている。猛暑のため、石油や豆腐などは好調であった。

台風により北海道産野菜の出荷に影響（青果）

	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	豆腐	8月は暑い日が続く、豆腐の売上はおおむね順調であった。
	紙器段ボール	昨年の8月と同水準の生産量。猛暑のために農作物分野が少し減少。県外大手メーカーが、組合員の固定客に安値で見積り提出があり、その価格対応のために収益が悪化した。
	伊賀焼	昨年と比べ、伊賀焼伝統産業会館及び伊賀・信楽古陶館とも入館者数、売上のいずれも昨年を下回っている。その原因として考えられるのは、夏の暑さと考えられる。秋になって涼しくなれば、回復すると思われる。
	鍍金	当業界全体の生産量としては、7月同様若干落ち込んだ。自動車関連は落ち込み、新車種が発売されるまでは、この傾向が続くそうである。半導体関連は、増加し、人手不足といった状態にあり、人材派遣、アルバイト等で補っている。
非製造業	青果	野菜：前半は、キュウリ、トマト、ナスが豊富に入荷。キャベツも安値が続くそう。大根は、高値。後半もキャベツ、白菜は順調に入荷。北海道産の野菜が台風による長雨が収穫のピークと重なり、出荷に大打撃。これから先高値が続くそうである。果物：前半は、デラウェアは、県内産、県外産とも豊作で味もよく、お値打ち。地場産の幸水梨もピーク。西瓜も天候に恵まれ、入荷も多い。後半は、産地も台風の影響が少なく、種類も豊富で全般的にお買い得である。
	旅館	昨年は、地域振興券の効果で、各地ともに宿泊客が伸び、伊勢志摩においては、サミット会場を一目見たいと日帰り客が賢島へ押しかけ、賑わっていた。今年は集客に繋がる様な情報もなかったものの、台風によるキャンセルもなく、好天続きであったため、月の初めは、少し低調であったが、後半で挽回し、昨年並みの集客であった。しかし、業態による格差が年々大きくなってきている。
	水道工事業(四日市)	8月に関しては、特に大きな変化は見られなかった。8月ということもあり、熱中症等の事故、怪我が起こらないように通常の日より、多くの注意を払って工事を行ったため、工事の進行が予定通りにならず、収益面において多少の影響を与えたケースもあると考えられる。
	トラック	燃料価格が一時期に比べ、安値で推移しており、収益につながっている。今後の価格動向を注視している。